# あなたのシークレットサンタは

今朝、あるクラスで次のことを尋ねてみました。

| |
|---|
| サンタさんって、世界に何人くらいいるか知っていますか？ |

「わかんなーい」
「１０にんくらい？」
「もっといるよ。」
「100 人かなぁ」
１年生の子たちは、真剣に考えています。
もう一つ聞きました。

| |
|---|
| サンタさんって、どんな風に生まれたか知っていますか？ |

これには、全員が首をかしげました。
私は、ニコニコしながら続けました。

| |
|---|
| サンタさんは、「誰かを喜ばせてあげたい」「あの人を幸せにしてあげたい」っていう優しい気持ちから生まれたと言われています。<br>だから、サンタさんは、世界中にたくさんいます。<br>たとえ、赤い服を着ていなくたって、トナカイのそりに乗っていなくたって、おひげを生やしていなくたって、サンタさんになれるのです。<br>誰かを喜ばせたい、誰かを幸せにしてあげたいっていう気持ちがあれば。<br>だから、みんなもサンタさんになれるんですよ。 |

へーそうなんだという表情で子どもたちは聞いていたので、もう一つあることに取り組んでみることにしました。
この時期にぴったりの実践です。

タイトルは「シークレットサンタ」。
次のようなルールで行うものです。

①クラスみんなの名前の書かれたくじを全員が一本ずつ引く。

②帰りの会までに、引いた人にこっそりと良いことをする。

③帰りの会で答え合わせ。二人だけ聞いて良い。

（自分を引いた場合は、１日自分にやさしくする。）

ルールが知らされた子どもたちはニコニコしながら大喜びでくじを引きに来ました。
そして、良いことをする相手の方をチラチラと見ながら、どんな良いことをしようかと考えている様子でした。
その後の子どもたちの姿は、実に微笑ましいものでした。
こっそりとごみを拾ってあげたり。
さりげなく机の上を片付けてあげたり。
人知れず水筒や筆箱を運んであげたり。
思い思いの方法で、相手の子を喜ばせてあげようとする姿が見られました。
もちろん一年生ですから、途中でちゃんとばれてしまう事もありました。
「えっ。なんで僕のロッカーを片付けてくれてるの？」
「あ、いや、えっと。」
「あーわかった！どうもありがとう。」
のようなやり取りが教室で生まれていて、見ているこちらまで幸せな気持ちになりました。
シークレットサンタの取り組みは、もう少し続けてみようと思います。
ちなみに、サンタクロースの起源のお話も載せておきます。

サンタクロースの起源
サンタクロース
サンタクロースは、４世紀ごろ、小アジア（現在のトルコ）のミュラの司教であった、聖ニコラスだと言われています。

聖ニコラス（271～343 年ごろ）は、現在のトルコのデムレ、かつてのギリシアの町ミュラの司教でした。彼は、日ごろから、困っている人や貧しい人を助け、自分の持ち物を惜しまず与えていた心のやさしい人でした。

あるとき、ニコラスの近所に３人の娘のいる家族が住んでいました。たいへん貧しくて、娘を売らなければならないほど、お金に困っていました。そのことを知ったニコラスは、その夜、その家の煙突から金貨を投げ入れました。ちょうどその金貨は、暖炉のそばに干してあった靴下の中に入って、そのお金で娘は救われ、後に結婚することができたのです。聖ニコラスは、同じことを下の２人の娘のときも繰り返し、その家庭を救ったと言われています。

クリスマスに靴下を下げておくと、サンタクロースが煙突から入って贈り物を入れてくれるという習慣は、ここから生まれたようです。

ニコラスにまつわる伝説や奇跡は、この他にたくさん残ってます。船乗りを嵐から救ったり、殺された子どもを生き返らせたという話も伝えられています。彼は、つねに子どもたちや貧しい人、弱い立場にある人と共に生きていたので、「子どもの守護の聖人」とされています。

プレゼント

彼は亡くなった後、聖人とされ、ヨーロッパでは彼の命日の 12 月６日に、聖ニコラス祭がはじまりました。この日、オランダやベルギーなどでは、子どもたちへのプレゼントを贈るようになりました。

聖ニコラスの伝説は、18 世紀に北米に移住したオランダ人に伝えられ、子どもたちへのプレゼントの習慣が、オランダと同じ 12 月６日に引き継が

れていきました。やがて、生まれたばかりのキリストに三賢者が贈り物をもって、ベトレヘムを訪れたという出来事と結びつき、アメリカ全土で「クリスマスにサンタクロースがプレゼントを贈る」という習慣が広がったと言われています。

聖ニコラスはオランダ語で、「ジンタークラース」と言い、それがなまって「サンタクロース」になったと言われています。

1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ (google.com)